



# 大槌学園小中一貫教育校

復興のシンボルとなる新たな学び舎の建設



- 所在地 岩手県上閉伊郡大槌町  
大槌第15地割及第23地割内
- 発注者 岩手県上閉伊郡大槌町
- 設計・監理 (株)昭和設計・(株)久慈設計  
共同企業体
- 建物概要 校舎棟・屋内運動場棟/  
W造一部RC・S造 地上2階  
プール棟/W造 地上1階  
駐車場棟/W+RC造 地上1階
- 完成年月 2016年9月



## 震災復興のシンボルとしての学校建設

当建物は、東日本大震災の津波により被災した町内の4つの小学校と1つの中学校が統合され新設された、県内初の小中一貫校で、震災復興のシンボルとしても注目された施設です。

校舎棟、屋内運動場棟は、木造、鉄筋コンクリート造と鉄骨造を組み合わせた構造で、教育環境に配慮した木材(町産材)を使用することにより、やわらかで暖かな学習空間を創り出しています。また、屋内運動場棟は、災害時には避難場所として利用できるように、校舎と切り離して運用できる配置となっています。「学校が身近な存在であるべき」との考えのもと、屋内運動場棟の訪問者を迎える位置に「井戸端会議室」を始めとした教室が並んでいます。多くの町民の方が学校に訪れ、また、学校の活動に触れ、学びに参加できる場となっています。

子どもの笑顔と町の協力が  
私たちの「力」に



東北支店 建築部  
作業所長  
**荒木 陽一郎**



大槌町産の木材を使用

## 地元の木材を多用した「木育」空間の創造

当工事における主要構造は木造で、構造用集成材の柱と梁の接合部に鉄筋を挿入し、エポキシ樹脂を注入して構造フレームを組み立てる工法を採用しています(サミットHR工法)。

大断面集成材に使用した杉の約8割が大槌町産で、町内から切り出した木材を県外の工場製材し、校舎棟、屋内運動場棟、駐車場棟で合わせて約1,500m<sup>3</sup>の木材を使用しました。中でも体育室天井における木製トラス構造の美しさは、教育システムの見学を目的に学校を訪れる方々からも高い評価を受けています。限られた敷地の中に計11棟の建物を建設する工事であり、工事車両の動線を確保しながら支障無く建物を組み立てて行くためには、綿密な計画とその遂行の努力が必要でした。隣接する高等学校のグラウンドの一部を木製トラス先組用のステージ設置のためにお借りするなど、周囲の皆様へ幾度となく助けをいただいたことは、我々職員の大きな力となりました。



## Episode

### 復興工事に携わって

着工時、東日本大震災による津波で被災した大槌町内の小学校4校と中学校1校の約620人の生徒たちがプレハブ校舎での不自由な学校生活を送っていました。その様な環境の下でも明るく元気に振る舞う生徒達のために、大槌町の主催で、施工中の現場見学会や町産の杉材を使用した梁への寄せ書きのイベントが開催されました。大変元気で礼儀正しく振舞う子どもたちと触れ合う機会を得て、我々現場関係者は、「大槌町の子どもたちのために立派な建物をつくらなければ」という思いを一層強くしました。また、20ヶ月もの長い工事で、近隣住民の方々にはご迷惑をおかけしていたにもかかわらず、町民全員が学校建設に協力的に接していただきました。2016年9月26日に無事開校、11月12日には落成式が開催され、子どもたちや、学校関係者をはじめ多くの大槌町民より感謝とねぎらいのお言葉をいただいた時には、これまでの苦労が報われる思いでした。



寄せ書きのイベントの様子



梁に書かれた子どもたちからのメッセージ